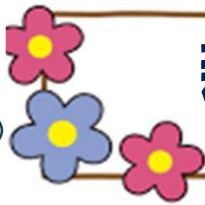


定住者向け
ミニ会報

令和5(2023)
No. 255



親和会ニュース 8月

Le petit bulletin pour les résidents permanents



特集 夏の過ごし方

暑中お見舞い申し上げます。

毎日暑い日が続きますが、暑さに打ちひしがれるのではなく、暑さを跳ね返して夏を積極的に楽しみましょう！伊豆高原には元気なアクティブシニアが大勢いらっしゃいますが、幾つかの声を拾ってみました。

スキューバダイビングを楽しんでいるAさん(70代女性)「涼を求めるなら、何といたっても海の中。60歳を超えてから始めたダイビングですが、伊豆の海のきれいさや、可愛いお魚たちに魅了されています」
イトーピアのテニス場で汗を流しているOさん(60代女性)「みなさん80歳を越えてもお元気ですよ。私も膝を痛めたんですが、無理しない程度に主人共々毎週やってます。テニスの後のビールがうまい！」そして、**いつもは山歩き大好き派のMさん(70代男性)**「夏は何処へ行っても混むし、クーラーを緩く効かせた部屋で、図書館で借りた8冊の本を読破する。時々昼寝。おお、これが最高の夏の昼下がりだね」と、ひと様々ですが、8月は伊東最大のイベント「**按針祭**」をオススメします。



夏の間毎週やっている伊東の花火は伊豆高原では見れませんね。でも、**8月(火)から10日(木)の三日間行われる按針祭**は「**灯籠流し**」に「**太鼓合戦**」とひと工夫あるし、最終日の花火大会はいつもの週末花火の10倍、なんと熱海の海上花火大会の倍の1万発を1時間のうちに打ちあげます。

車は混むし、駐車料金も悔しいし、でもここは伊東に住んでる地の利を活かして車は伊豆高原駅に停めて、下駄ばき浴衣で電車なんてどうでしょうか。夜の帳を竹の灯籠に誘われて藤の広場辺りまで来れば、そのうち、シュルシュルどっかーんと花火が始まる。頑張って海まで行ってもいいけれど、広場は観光客らしき若者だらけで、やれかき氷だ、たこ焼きだと匂い充満。花火は遠くからでも同じように美しい。音が真下でない分柔らかくなりました。橋の袂で欄干にもたれ掛かって鮮やかな夢花火を見ようではないですか。

たまやー！ かぎやー！

按針祭日程

8月8日(火) 松川灯籠流し
19:30~21:00 通学橋~河口
色とりどり2000個の灯籠が

8月9日(水) 太鼓合戦
18:30~21:00 なぎさ公園
力強い和太鼓チームが競演します

8月10日(木) 海上大花火
20:00~21:00 伊東海岸一帯
5つの会場から1万発を打ち上げ



伊豆急

伊豆高原 上り	伊東発 下り
16:54	
17:17	20:26
18:03	21:02
18:47	22:00
19:20	22:47

臨時駐車場

西小校庭	160台
東小校庭	200台
市役所	100台
デュオ	120台
(マンダリン跡は閉鎖)	

連載企画 「介護家族」

ある調査では、中・高齢者世帯の約7割が「介護が必要な家族がいる」、またその半分以上が「在宅介護をしている」と回答しています。もちろんここ伊豆高原でも、在宅介護・看護に励まれている方、

施設のお世話になっている方、親の介護は終えただけ次は・・・と、さまざまなかたちで家族の介護という大きなテーマに向き合っている方が大勢います。

家族介護で、追い詰められた気持ちが募り、孤独感やストレスに押しつぶされそうになった貴方の心が少しでも軽くなるようにと願い、連載企画「介護家族」をお送りします。家族介護にかかわった3人の座談会ですので、介護に関する専門的な情報はございません。



【ひろし 在宅介護していた義母(妻の母)が最近施設に入所】

2年ほど実母を在宅介護をする妻をみていて、「この頑張りはいつまで続くのだろう?」との思いが積もり、介護老人ホームへの入所を決めました。男性の私には手助けすることにも限界があり、妻のグチを聞くことしかできませんでした。

【よしこ 実母の在宅看護・介護を最近終える】

毎日続く認知症の家族を独りで看ていると、懸命に世話をしているのに拒絶されたり罵倒されたりします。使用人のように扱われていると感じて報われませんでした。愚痴を聞いてくれた友達には感謝です。



【さちこ 夫の在宅看護・介護に奮闘中】

イライラが募っても、それをどのように消化すればよいのかわからない。この満たされない心に誰かが気づいてくれるだけで、一言ねぎらってくれるだけで頑張れるのに……。以前は介護サービスを利用すると、介護に手をぬいているように感じて罪悪感をもっていました。

【森田さん 経験豊富なケアマネさん】

介護をしていると、介護する相手との関係が行き詰まります。あなたの自己犠牲では、いずれ立ち行かなくなります。在宅看護・介護では、**孤独感が一番の敵**です。誰かに話を聞いてもらうことが有効な場合もあります。けっして自分を追い込む必要はありません。誰かに助けを求めることもあなたの権利です。

次号へつづく

不安や悩み事があっても、ひとりで抱え込まずに誰かに話すことで少しでも心が軽くなることもあるはず。気軽に話せる場所、悩みを共感できる場所、孤独感を癒せる場所、自慢話ができる場所・・・そんな場所をめざして『並木カフェ』がブレ・オープンします

伊東市認知
症あんしん
マップ
右のQRから



むかひ火や 父のおもかげ 母の顔



伊豆メガソーラー工事は今・・・

平成31年3月頃からメガソーラー建設は止まっています。事業地の中で行っている工事は伊東市の指示による防災工事です。今年1月に入り、県道わきの事業者の土地に新たに3つの建物が建設され、人や車の出入りが目立つようになりましたが、事業地内の防災工事を行っているだけです。

事業者が伊東市を訴えている裁判の現状は?

事業者が伊東市と争っている訴訟は二つあります。一つは、条例に従う義務がないことを求める訴訟で、これについては先月の29日、静岡地裁で判決が出されました。判決は事業者の請求を棄却するというもので、伊東市の全面勝訴です。

二つ目の訴訟は、伊東市が令和3年7月に改めて出した河川占用不許可処分を取消せということと不許可処分によって生じた損害を賠償せよという訴訟です。現在静岡地裁で審理中ですが、この河川占用不許可処分によって、事業者は、「事業地の雨水を八幡野川に放出することができない」及び「八幡野川に橋をかけ直して大型重機を事業地に搬入することができない」ので工事ができないため、事業者は河川占用不許可処分の取消を求めているのです。

実は、河川占用不許可処分によって、平成31年3月からメガソーラー建設の本体工事は中断しています。事業者と争っているこの裁判に伊東市が勝つことは、メガソーラー建設を止める有力な方法の一つです。

メガソーラー建設を止めるためのもう一つの訴訟 《土地造成許可の取消訴訟》の現状は?

私たち住民は、土地造成許可の取消を求めて伊東市と静岡地裁で裁判中です。伊東市の主張は、原告には訴える資格がないというものです。許可の当事者ではない住民が原告になって訴える行政訴訟では行政側は必ず主張してきます。

土地造成によって災害が発生すること、その災害が原告に被害をもたらすことを立証することが求められており、様々な観点から反論していく必要があるのです。8月に第2回公判が予定されています。

わたしのお庭自慢

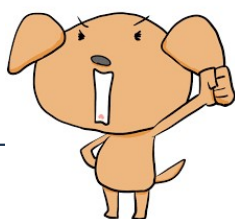
花の名前は どうしてこんなに長いのでしょうか・・・

ガーデニングは花を育て楽しむ場
だけでなくコミュニティの場でも
あることを知らされました。今で
は、株分、挿し木などで増やし、
ご近所さんと植物交換できる仲間
との時間が私の幸せです。かけが
えのない友人との出会いにも庭に
感謝。(第2地区 長島さん)



せつかく覚
えても、人
から尋ねら
れたらすぐ
に名前が出
てこない。
植物にふだ
を付けてお
けば手っ取
り早いですが、これも認知症予
防。そう思いながら繰り返し覚え
ます。一年を通してのレイアウト
や彩りを考えながら、頑張りすぎ
ない庭を目指しています。

五年前、新し
い土地伊豆高
原に暮らし始
めた頃は会話
の相手は夫の
み。そんな中
庭に出て草花
のお手入れを
しているとき
をかけて下さ
る人が増えて
ました。



新しいイベント企画、
新しい掲載企画、ガンバって計画中！

餅つき大会を復活

コロナ禍で休止していましたが、再開の方向で
す。参加者全員がつける軽量の杵を調達中

伊豆高原座談会【Highlanders Topics】

伊豆高原には、経験と叡智に富む人材が数多く
お住まいです。普遍性に富む話題で和やかな雰
囲気のもと会員の皆さんがテーブルを囲む“座
談会”形式ででお話しを共有する機会を計画中
です。話し手の自薦他薦をお待ちしています。
希望する話題をお寄せください。初回は秋ごろ
を予定です。

素敵なお店の訪問記

愉快的なオーナーがいるカフェ、素敵なお庭のカ
フェ、ワンコが喜ぶレストランなど、ちょっと
変わった目線で、親和会エリアのお店の紹介し
ます。ただいま広報スタッフが調査中

Namiki café 並木カフェ

困りごと、心配ごと
どこに相談したらいいの・・・☹️

こんな楽しいこと、みんなに伝えたい・・・😊

介護でちょっと疲れたみたい・・・☹️

コロナで話し相手が少なくなった・・・☹️

伊豆高原の暮らしが豊かになることなら
どんな話題も、些細なことでも大歓迎です
並木カフェであなたのお話をお聞かせください

今秋から、気軽にお話ができる
集いの場をプレオープンします

9月7日(木) 午後2時～3時
場所は親和会事務所の会議室です



班長は輪番です



枝葉ゴミはケージの外に!!

ゴミステーションの可燃ゴミ置き場(金網の扉がある大きなケージ)
が、庭の選定などから出た枝葉に占領されたため、生ゴミが混じっ
た家庭ゴミを外に放置するほかなくなったようです。すぐにカラス
の餌食となり写真のように無残な有様です(7月5日撮影)



庭からでた枝葉などは指定ゴミ袋に入れ、ケージの前や横側に出す
ようにしてください。また枝葉ゴミと生ゴミは同じゴミ袋には入れ
ないよう願います。カラスには罪はありません、皆様のちょっとした
ご配慮で、ゴミステーションが護美Stationに変わります。

ゴミステーションの使用ルールを再度ご確認ください、適正なゴミ
出しを強く願います。



「親和会歩」う会の再開について

去る2022年4月2日を最後に休会しておりました『親和会歩う会』ですが、会員の皆さんと一緒に楽しく歩きたいとの声が多数聞かれましたので、「そろそろ歩き始めましょう」ということに話がまとまり、今秋から再開する運びとなりました。

歩く場所につきましては、参加される会員の方々に希望候補地をお聞きしながら、季節に合う場所を決定していただく形式を基にしていきたいと思います。



再開第一回目は、2020年10月3日に実施して大好評でした、「ヒガンバナ咲く池の郷と水源を尋ねて」を9月30日（土）10時～14時に開催を予定しております。



詳細につきましては、親和会ニュース9月号に掲載いたします。会員の皆様のご参加をお待ちしております。



募集中

広報部から
私たち広報誌制作チームは、親和会活動を皆様にお伝えするとともに、皆様のご意見を反映した誌面作りに努めてまいります。皆様のお声を代表する企画や、皆様のお困りごとに答える企画など、広報誌制作チームは一丸となつて一生懸命に取り組みます。広報誌制作にご興味をお持ちの会員の方がおられましたら、お気軽にボランティア記者としてご参加下さい。
（連絡は福田まで）
080-7962-0610

ボランティア記者募集
広報部に登録、取材や執筆をわたくしたちと一緒に楽しみたいよう
投稿募集
広報誌へのご意見や記事をお寄せ下さい
取材の依頼募集
自慢のお庭や趣味、なんでも取材します

見学大歓迎

並木カフェ	9月7日(木) プレオープン	親和会事務所
環境ボランティア	お休みです	
パソコンサークル	8月1日(火) 午後1時30分～	親和会事務所
のんちゃんのいきいき呼吸練功体操	8月11日(金) 午前10時～	老人憩いの家
英会話サロン	お休みです	
小物作りの会	お休みです	
サロン・デ・スペイン語	お休みです	
絵手紙の会	お休みです	
うたう会「夢の和」	8月26日(土) 午後10時～	八幡野コミセン 3F

119回 親和会ゴルフ愛好会

8月17日(木) 7時40分集合

天城高原GC ☎29-1133

参加希望・キャンセルは7日前迄、平松(53-1615)まで

キトリ線

輪番の班長は掃除当番ではありません

8月のゴミ出し日

ゴミステーションはルールを守って

可燃ゴミ	ビン	カン	金属類	古紙 段ボール	われもの 乾電池	ペットボトル
月・水・金・日	3 (木)	3 (木)		8 (火)		1 (火)
		10 (木)	10 (木)			8 (火)
	17 (木)	17 (木)			17 (木)	15 (火)
	31 (木)	31 (木)		22 (火)		22 (火)